

保育の安心シート



Name: _____

Date: _____

子どものとの関わり

- 子どもの行動には必ず理由があると捉え「頭ごなし」に「決めつけ」で感情を表すことがない
- 「赤ちゃんだね」「男の子なのに」「〇〇ちゃん是可以のに」などの声かけはしていない
- 急に抱き上げたり、腕をひっぱたり、わざと驚かせて泣かせたりするようなことはしない

★ 子どもの人権・保育所保育指針

大人との関わり

- 指摘されたことに対して、前向きに捉え「どうしてだろう」と考え、質問することができる
- 保護者や職場の仲間の、背景や今の状況を理解するように努め聴く姿勢をとるようにしている
- 「この行動はおかしいな？」と思った時に、たとえ先輩や上司であっても、言葉にしている

★ マネジメント

環境・安全管理

- オムツ替えやお着替え、嘔吐の場面等では、特に、子どものプライバシーに配慮している
- 人数を確認する際は、数としての認識ではなく、一人一人の顔を認識するようにしている
- 子どもが身を守るために必要な知識・意識、挑戦心や満足感を持つ保育を計画・実践している

★ 事故予防・プライバシーの配慮

メンタルヘルス

- 自分自身の好きなこと・得意なこと・助けが必要なこと、そして心と体の状態を理解している
- 仕事の中で困ったこと、悩んだことがあった場合に、信頼して相談できる相手がいる
- 仕事・保育を通して認められている、成長していると、感じることができている

★ キャリア相談・カウンセリング



取り扱い説明書



保育は、チームでしています。
 だから…うまくいかないこと、ヤキモキすることもあることは事実。
 とはいえ、チームだからこそ助け合い、補い合い、成長できるのです。
 そして、強いチームは「自立した個人の集団」とも言い換えることができます。
 ベテランだから偉いわけでも、新人だから「言うことを聞かないといけな
 わけでもありません。
 一人ひとりの保育者が、安心して保育をし、成長して「安全な保育」が続いて
 いくためにこのシートが生まれました。役立ててもらえると嬉しいです。

.....

「子どもの最善の利益」に立って
 「今、そして未来のこの子にとって、本当に必要なこと」を
 探すことが、保育者の仕事です。

虐待？指導？

以前は「指導」や「しつけ」「親しみ」と呼ばれていたことも、令和時代の
 今となっては、虐待に当てはまることもあります。例えば、廊下に立たせる、
 「ご飯をあげないよ」と脅す、みんなの前で声を荒げる、言われたくないことを
 しつこく言う。虐待に対しての世間の目は厳しくなる一方。昔からしていた～
 みんなしている～、良かれと思って～は、通用しません。「自分の当たり前」を
 見直し周りの人と声を掛け合って、令和時代の保育を身につけていきましょう。

事故は起きる

どんなに安全運転をしていても事故に遭う人がいるように、事故はおきます！
 「子どもは元気に成長する」「今までやってきたから大丈夫」と油断しては
 いませんか？ 事故が起きないように▶対策 事故が起きたとき▶対処
 事故の後▶対応と、どれも抜けても事故は起きやすくなってしまいます。
 安全は、作り出し管理することで維持ができます。自分自身のコンディションを
 整え、行動面をチェックしながら、安心して保育に望める環境にしましょう。

メンタルヘルス

- 自分自身の好きなこと・得意な
こと・助けが必要なこと、それ
で心と体の状態を理解している
- 仕事の中で困ったこと、悩んだ
ことがあった場合に、信頼して
相談できる相手がいる
- 仕事・保育を通して認められて
いる、成長していると、感じる
ことができている

★ 無料相談・カウンセリング

保育の安心のために必要なことを
 対象ごとに分けました

それぞれ3つに絞りました
 気軽に、定期的にチェック！

自己評価とともに、チームごとに
 一人ひとりの成長ポイント(指摘ではなく気付き)が
 出せると、さらに効果的に活用できます！

参考にしたい方法・身につけたいテーマ
 気になる方は、ご質問くださいね



悩んだら
 ここ！
 匿名OK